

米代西部森林管理署	
タイトル	森林作業道作設検討会
実施年月日	平成24年10月17日(水)
実施場所	午前：秋田県能代市二ツ井庁舎 午後：秋田県能代市二ツ井町田代字田代沢国有林3林班は小班
参加者	局署：東北森林管理局、米代東部森林管理署、上小阿仁支署、米代西部森林管理署 11名 外部：秋田県山本地域振興局農林部森づくり推進課、秋田県北秋田地域振興局農林部森づくり推進課、能代市、八峰町、藤里町、署管内林業事業体等 38名 計 49名
<p><b>【取組の目的・概要】</b>  「森林・林業再生プラン」に基づき、様々な施策が展開されているが、とりわけ林業生産活動等の基盤施設である路網を集中的に整備し、施業の集約化、低コスト化を図っていくことが大変重要とされている。  森林作業道については、従来の集材路とは異なり、継続的かつ低コスト化が図られるよう、「森林作業道作設指針」において規格・構造等が定められており、「作設指針」に従った適正な森林作業道の普及を図る観点から、これまでの取組、経験を踏まえつつ、森林作業道の調査計画段階から施工段階に至るまでのポイントとなる技術の確認、課題の検討等を行う。</p>	
<p><b>【取組の成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業体向けの説明会が3回目ということもあって、説明会で後ろ向きの質問が少なくなってきた。(作設ポイントなどの内容を理解してきているものと思う)</li> <li>・ 縦断勾配の測り方について、ハンドレベル・クリノメーターを使用して実演を行ったほか、ヘアピンカーブの測定方法についても実演したことにより、路網計画の作成技術について認識が深まった。</li> <li>・ 森林作業道の作設デモンストレーションを行ったオペレーターの技術が比較的優れていたため、他事業体の模範となった。また、作設状況を見ることの少ない、県、市、町の担当職員に対し、作設デモンストレーション見学の機会をつくることのできた。</li> </ul>	
<p><b>【出された意見】</b> ※検討会にあたって事前に出された意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最小曲線半径の確保に苦慮している。→曲線設定可能箇所を明確に示すとともに設定方法を実演。</li> <li>・ 路網計画作成のための事前踏査に時間が掛かり経費が増えた。</li> <li>・ 施工における締め固めがうまくいかない箇所がある。→正しい土工を実演。</li> <li>・ 路網の勾配調整に時間が掛かる。→計画段階で余裕のある精度の高い勾配設定を実演。</li> <li>・ 指針に基づいて作設したことにより路網の端部が丈夫になったため、安定した重機の走行が可能となった。</li> <li>・ 排水処理に気を遣うようになり、汚濁防止につながっている。</li> <li>・ 伐採区域以外にも目を向けるようになった。</li> <li>・ 他の事業体の森林作業道も見えるようになった。</li> </ul>	
<p><b>【今後の課題】</b>  今後も継続して森林作業道の作設検討会等を実施し、署、事業体の更なるレベルアップを図る。また、地域のトップランナーとして積極的に民有林関係者に対する森林作業道のPR、技術指導等を行って行く必要がある。</p>	

タイトル 森林作業道作設検討会



室内勉強会の様子



作業現地で概要等の説明



縦断勾配の測定実演



曲線の測定実演



路網線形について意見交換



作設デモンストレーション